

2022年6月1日

投資家の皆様へ

HSBCアセットマネジメント株式会社

「HSBC ロシア オープン」

運用ベンチマークの廃止、運用管理費用の引き下げ、継続募集の停止について

拝啓 平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、掲題ファンドにつきましてはロシア情勢の影響により実質的には運用が行えない状態にあります。また、このような状態がいつまで継続するか依然見通しは全くたっておりません。

このような中、2022年6月1日付けで当ファンドの運用ベンチマークが廃止されることとなりました。当ファンドにて採用されている「MSCIロシア10/40指数」は現状、数値が公表されていない状況ですが、2022年6月1日に廃止される旨、MSCI社から発表がありました。今般の特殊事情下、MSCI社による同指数の廃止はやむを得ず、またこれを代替するベンチマークも存在しないことから、当ファンドのベンチマークも廃止することといたしました。なお、これにより当ファンドの運用が再開された際にも、運用の性質が変わるものではございません。

また、現状、実質的に運用が行われていないことから、当ファンドの運用管理費用（信託報酬）の一時的な引き下げを行います（水準については下記ご参照）。市場環境、流動性が改善し、運用が再開された場合には、元の水準に戻させていただく予定です。その際は改めまして当社ホームページ等でご連絡させていただきます。

最後に、当ファンドの現在の購入の申し込み期間は2022年6月13日までとなっており、期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されることとなっております。しかしながら、現在はロシア株式への投資が困難である状況が継続しており、当ファンドの購入・解約、定時定額による投資（積立）のお申込みの受付を停止しております。その状況の改善は当分見込めないことから、購入の申し込み期間の更新は当面行わないことといたしました。今後は市場における流動性が確保されるようになれば、まずは解約の受付から再開し、さらに市場環境が整えば改めて購入の申し込みの再開も検討いたしたく考えております。こちらに関しましても変更があった際は、改めて当社ホームページ等でご連絡させていただきます。

引き続き投資家の方々の利益を一番に考え、業務運営を行って参る所存です。ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

◇ファンドに関する変更事項

(2022年6月1日付)

運用ベンチマーク(MSC I ロシア 10/40 指数)の廃止

(2022年6月14日付)

運用管理費用(信託報酬)の一時的な引き下げ

(現行) ファンドの日々の純資産総額に対して、年 2.145% (税抜年 1.95%)

信託報酬率		内訳(税抜)		
税込	税抜	委託会社	販売会社	受託会社
年 2.145%	年 1.95%	1.15%	0.70%	0.10%

(変更後) ファンドの日々の純資産総額に対して、年 0.88% (税抜年 0.80%)

信託報酬率		内訳(税抜)		
税込	税抜	委託会社	販売会社	受託会社
年 0.88%	年 0.80%	0%	0.70%	0.10%

(本件に関するお問い合わせ先: HSBC アセットマネジメント 03-3548-5690)

以上

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】